

IOSCO は、国際的に一貫性があり、比較可能で信頼性の高いサステナビリティ開示基準の緊急性を認識し、IFRS 財団の下でのサステナビリティ基準審議会における優先順位とビジョンを公表

IOSCO は本日代表理事会を開き、サステナブルファイナンス・タスクフォース (STF) による過去1年間の進捗状況について議論した。IOSCO は、サステナビリティ報告の一貫性、比較可能性、信頼性を向上させることが急務であり、当該報告が気候変動に関連するリスクと機会に最初に焦点を当て、その後、他のサステナビリティの問題にも拡大していくことになることを認識している。

2020年4月に報告書「サステナブルファイナンス及び証券当局とIOSCOの役割」を公表して以来、STFは、発行体のサステナビリティ開示、資産運用会社の開示及び投資家保護、並びにESGデータ及び格付け提供者の役割に関する作業を進めてきた。特に、発行体の開示については、サステナビリティ関連情報に対する投資家の需要が現在適切に満たされていないとIOSCOは見ている。例えば、企業は、異なるフレームワークを参照し、サステナビリティ関連情報を選択して報告していることが多い。

金融市場は、投資判断に重要な財務結果やその他の情報の完全かつ正確で適時な開示に依存しているため、STFは、サステナビリティに関する開示の一貫性、比較可能性及び信頼性を向上させるための取組を継続していく。IOSCO代表理事会は、その目的に沿って、企業や資産運用会社によるサステナビリティ関連情報の開示の改善のために3つの優先事項を特定した。

- i. **国際的に一貫した基準の奨励。**サステナビリティに関する幅広いトピックをカバーし、既存の原則、フレームワーク及びガイダンスを活用しながら、サステナビリティに関連した開示のための共通の国際基準について、各国の法域を超えた国際的に一貫した適用に向けた進展を促す。
- ii. **比較可能な指標及び定性情報の促進。**企業のサステナビリティ関連の開示において、業界特有の定量的な指標、及び定性情報の標準化をより重視することを促進する。
- iii. **開示アプローチ全体の協調。**企業のステークホルダーへの依存度や外部環境を含めた企業価値創造に焦点を当てたサステナビリティ関連情報の開示の国際的な一貫性を促進するとともに、より広範なサステナビリティの影響に関する投資家の情報ニーズを調整するメカニズムを支援し、現在の会計基準のフレームワークとのより緊密な統合及び企業開示の独立した保証を促進する。

このため、IOSCO代表理事会は、IFRS財団評議員会及びその他のステークホルダーと協力して、これらの優先事項を推進することにコミットする。IOSCOのIFRS財団評議員会との対話では、以下の目的に焦点を当てる。

i. 強固なガバナンスを持つサステナビリティ基準審議会 (SSB) の設置

IOSCOは、IFRS財団の構造の下でのSSBの設立に向けた作業の次の段階を示す2021年2月2日のIFRS財

団の発表を歓迎する。IFRS 財団評議員会は、「サステナビリティ報告における国際的な一貫性と比較可能性を向上させることが急務となっている」と指摘し、IFRS 財団がこの分野で役割を果たすべきであるとの明確なフィードバックを受けたと報告した。IOSCO は、IFRS 財団評議員会が今後数ヶ月の間に提案書を作成していく中で、IFRS 財団評議員会と協力していくことを期待している。

IOSCO は、IFRS 財団評議員会が既存のガバナンス構造の下で国際会計基準審議会（IASB）と並んだ SSB を設立するための計画を策定する際、IFRS 財団評議員会と協力して、以下のようなサステナビリティ報告基準を設定するための効果的なシステム構築を提供することを視野に入れている。

- a. 各国の法域を超えて、サステナビリティ関連情報の開示義務化に向けた一貫性のある比較可能なアプローチのベースラインとして機能するよう、市場の十分な受容性を要求する。
- b. 既存の会計報告基準との互換性があり、作成者間のサステナビリティ関連情報の開示のガバナンスを促進する。
- c. 監査および保証の枠組みを開発するための基礎を形成する。

IOSCO は、IFRS 財団評議員会による最終的な提案を評価することを期待しており、特に、当該提案の判断基準については、IOSCO が提案された SSB 及び SSB で策定される基準を将来的にエンドースすることを検討する際の重要な要素である。IOSCO は、証券監督当局の国際機関として、発行体のサステナビリティに関連する報告要件をクロスボーダーで使用するために SSB が発行した基準を評価し、参加当局や関連当局が国や地域レベルでサステナビリティに関連する開示要件を設定する際に当該基準を検討するよう奨励する点で、重要な役割を果たすことになるだろう。IOSCO は、IASB による国際会計基準設定の承認と監督においても同様の役割を果たしている。

IFRS 財団のモニタリング・ボードの議長を務める IOSCO の役割を考えると、私たちはまた、関連するガバナンスの取り決めを監視する上で主導的な役割を果たすことにコミットしている。

ii. 既存の取組の強化

IOSCO は、既存のサステナビリティ関連の報告枠組みの内容を活用することを SSB に奨励する。IFRS 財団は、既存のサステナビリティ基準設定主体の取組を踏まえることによって、投資家に対してサステナビリティに関連する財務報告のための共通の国際基準の開発について、ランニングスタートを得られるだろう。

加えて、IOSCO は、主要なサステナビリティ報告組織（以下「アライアンス」という。）と連携し、アライアンスの原則、フレームワーク及びガイダンスの組み合わせ、将来のサステナビリティ関連開示のための国際的な共通の基準の基礎を模索することを歓迎する。アライアンスは、気候関連財務開示タスクフォース（TCFD）の提言に基づく気候変動に関連する情報の開示アプローチのプロトタイプを公表し、IFRS 財団の財務報告基準の形式と構造を採用した。

IOSCO は、これらの努力を歓迎し、SSB が気候変動に関連する報告基準を策定するための潜在的な基礎として、当該プロトタイプをさらに検討することを奨励する。より一般的には、IOSCO は、IFRS 財団のランニ

ングスタートを可能とする技術的見解及び提言を引き続き提供する、企業価値報告に焦点を当てた主要な取組を奨励する。

気候変動問題の緊急性を考えれば、IOSCO は、まずは「気候変動第一」のアプローチを支持する。しかし、IFRS 財団は、環境、社会及びガバナンス（ESG）問題を含む他のサステナビリティのトピックをカバーする基準の開発も早急に進めるべきである。

iii. 「ビルディング・ブロック」アプローチの奨励

IOSCO は、国際的なサステナビリティ報告システムを構築するための「ビルディング・ブロック」アプローチを推奨する。これにより、企業価値の創造に重要なサステナビリティ関連情報の一貫性及び比較可能なベースラインを提供すると同時に、より広範なサステナビリティの影響を捉えた報告要求事項の調整のための柔軟性を提供することになる。

IOSCO は、SSB が決定する企業価値に焦点を当てた基準と、より広範なサステナビリティに関連する基準との間の継続的な国際的な調整を支援することを目的としている。また、より広範なサステナビリティ情報の開示要求事項に関する国際的な一貫性を促進することを支援する。この目的のため、IOSCO は、IFRS 財団、アライアンス及びその他の関連するステークホルダーと協力して、追加的な調整メカニズムを確立する。

このような調整を促進するために、IOSCO は、IFRS 財団の組織内にマルチステークホルダー専門家協議委員会を設置することを検討する用意がある。この委員会は、SSB が企業価値の創造に重要となりうるサステナビリティに関するトピックを特定することを支援すると同時に、より広範なサステナビリティの影響に関する投資家の情報ニーズを調整するためのメカニズムを支援し、法域固有の報告基準における一貫性を補完的に調整、促進することも可能となる。

IOSCO は、これらの取組が共同して、透明性の高い基準設定の構造及び強固で包括的なガバナンス構造の中で、資本市場が必要とする内容を提供する高品質で国際的な開示基準の開発に寄与することを確信している。

Ashley Alder IOSCO 議長兼香港証券取引委員会（SFC）長官は、次のように述べている。「市場のニーズを満たす形でサステナビリティ報告を改善することが急務となっている。IOSCO は、20 年前に IFRS 財務報告基準をエンドースした時と同様に、IFRS 財団の下でサステナビリティ基準設定のためのシステム構築をエンドースすることで、高品質なサステナビリティ開示基準の市場受け入れを支える唯一の立場にあると考えている。」

Erik Thedéen IOSCO サステナブルファイナンス・タスクフォース議長兼スウェーデン金融庁長官は次のように述べている。「IOSCO は、サステナビリティに関する幅広いトピックをカバーする明確な道筋を持ちながらも、『気候第一主義』を支持する現実的なアプローチを提案しており、法域固有の要求事項との相互運用性を支援するメカニズムを確立しながら、企業価値に関連した中核的な情報の国際的な一貫性を促進することを目的としている。」

(Note to the Editor は省略)

(以上)